

西藤島小だより



☆学校教育目標「自主と創意に満ちた人間性豊かな児童の育成」

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

令和4年11月30日

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

第16号

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

どんどんつながる学校

前号では地域とつながる学校を特集しましたが、西藤島小は校内でもつながる活動を推進しています。今回はその活動を紹介します。

4年生主催「1年生となかよくなり隊」

2日(水)、4年生が1年生と交流しました。4年生は「人と人がつながる町」をテーマに総合の学習を進めています。地域にくらす様々な人の思いや願いを知り、共に過ごしていくことを学ぶというものです。春の遠足の際は、事前に3年生と交流しました。今回はその時より少し年齢の離れた1年生との交流です。4年生は1年生に遊び方を教えたり、優しく声をかけたりしていました。すっかり上級生の振る舞いでした。今後は保育園の園児さんとの交流を予定しています。

【4年生のふり返り(抜粋)】

- 1年生とだったので、説明や遊びなどを分かりやすくかんたんなものにしなければいけなかったのでおぼろしかったです。1年生がとても楽しそうにできてよかったです。保育園の子たちと遊ぶときはばくだんゲームはやめて、もっとかんたんな遊びにしないといけないと思いました。
- 今までずっと大変なじゅんびをしてうまくいったので、ここまでじゅんびしたかがありました。1年生がすごくよろこび、けいひんがなくなりました。これを次の交流会へ生かしたいです。次は保育園の園児です。うまくいくようがんばります。
- 1年生とのこうりゅう会は大成功でした。新聞の「の」の字さがしは、1年生が「の」という字を見つけていっぱい丸をしていました。1年生はわたしたちがつくったおりがみのけいひんをいっぱいもらってくれてうれしかったです。
- 自己しょうかいの時に、1年生に聞こえる声で言いました。遊びのしょうかいではぼくが言うときにきんちょうしたけどがんばりました。きのうのリハーサルよりもうまく行ってよかったです。



4年生 福祉体験

16日(水)、4年生が福祉体験をしました。実施したのは車椅子体験とガイドヘルプ体験です。

車椅子体験は2人一組で行いました。車椅子に乗っている状態では、床の段差が進行の障害になることは分かっていましたが、実際に乗ってみて、ほんの僅かな段差であってもそれを超えるのはとても大変であることを実感していました。また、日頃何気なく使っている手洗い場の蛇口に、手が届かないという場面がありました。蛇口にまっすぐ向かい合うのではなく、車椅子を少し斜め向きに近づけなければならないのです。こうした小さな難しさの経験から、介助の仕方にも思いを巡らせることができました。

社会福祉協議会の方の勧めで、介助してもらおうのではなく、自力で進む体験もしました。S字コースなどを正確に進むのは、とても難しかったようです。

ガイドヘルプ体験では「あっちだよ。こっちだよ」という不確かな情報では相手の支援にならなとに気付くことができました。アイマスクを装着した子からは「慣れている体育館なのに怖かった」「実際ならとても進めない」「点字ブロックの大事さがよく分かった」などの感想が聞かれました。

この体験により、子どもたちはまた一つ、様々な立場の人とつながる方法を身に付けたようです。



2年生主催「おもちゃパーティー」

生活科の学習には「身近にあるものを使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができ、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとする」という内容があります。9日(水)、2年生が自慢の手作りおもちゃを持ち寄り、8つのブースを開きました。この日のお客さんは1年生です。パーティー開催中、2年生は一生懸命お客さん呼び、遊び方を説明していました。景品(折り紙で作った作品)がどんどん減っていくのもうれしかったようです。

学校では、このおもちゃパーティーを毎年開いています。2年間の生活科学習のまとめとして、2年生がおもちゃ屋さんを開き、1年生を招待する。招待された1年生は、その翌年、主催者側となり、1年生を招待する…。1, 2年生がしっかりとつながるこの活動を今後も継続していきます。



外国の方とつながる6年生



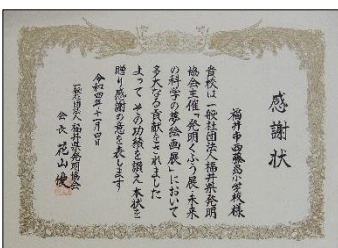
15日(火)、6年生が外国語科で外国の方との対話を楽しみました。対話の相手は本校ALTのご両親です。ALTはアメリカ出身。当日はWebシステムを活用し、アメリカで暮らすご両親とオンラインでつながりました。遠く離れた外国ともすぐにつながるすばらしい時代です!

この日の学習は“What time do you ~?”の話型を使って対話することでした。そこで、子どもたちはグループで相談し、“What time do you walk with your dog?”などと下線部分を考えて質問していました。学習したことを生かして対話し、それにより相手のことを知ることができたという実感は、6年生の自信につながったようです。

にじっ子委員のあいさつ運動



学校では毎朝、にじっ子委員によるあいさつ運動が展開されています。はじめのうちは少し恥ずかしそうでしたが、徐々にその思いはなくなってきました。自律的に判断し、行動している高学年の取組みにより、学校全体があいさつでつながっています。



感謝状をいただきました

福井県発明工夫協会から左写真のとおり感謝状をいただきました。夏休みの作品コンクールで、毎年、にじっ子が作品応募を続けたことが「発明くふう点・未来の科学の夢絵画展」に大きく貢献したと認められたものです。賞状は児童玄関前のショーケースに展示してあります。ご来校の際、ご覧ください。